

安中様名

横川

安中

18

豊本郡

伊奈氏三代について

伊奈忠次

天文19年(1550)、伊奈忠家の長男として三河国幡豆郡小島(愛知県西尾市)に生まれました。初め徳川家康の長男松平信康に仕えていましたが、天正7年(1579)信康生害に際して三河を出走し、父とともに堺の叔父貞吉の元へ身を寄せます。同10年の本能寺の変を機に、小栗大六の与力となり徳川家康に帰参すると、同14年の駿府移城に伴い家康近習となり、五ヶ国総検地に才能を発揮し重用されました。初めは家次、後に忠次と名乗っています。

天正18年の小田原攻めでは、駿河・遠江(静岡県)、三河(愛知県)三ヶ国の道路の普請や富士川の船橋の整備、軍勢の兵糧の輸送などを一手に担い、地方巧者としての地位を固めました。

家康の江戸入封後は、武蔵国足立郡小室及び鴻巣において1万3千石(1万石とも)を与えられ、小室に築いた陣屋を拠点に、関東支配の基礎作りに多大の力を発揮しました。

慶長8年(1603)徳川幕府が成立すると、全国支配のための代官支配にあたるとともに、治水・灌漑工事や検地、新田開発、年貢収取など多様な農政や地方支配を行うようになりました。更に、同12年頃には二元政治のもと、江戸の將軍秀忠の政権中枢に参画し、単なる代官頭としての立場を超えた、年寄衆に近い役割で広範な権限を持つようになりました。

慶長15年6月61歳で亡くなり、勝願寺(鴻巣市)に葬られました。

伊奈忠政

天正13年(1585)、伊奈忠次の嫡男として遠江国(家譜では三河国)に生まれました。慶長5年(1600)の上杉景勝攻めに際し、命によって近習に列し、三河國小島の本領を安堵されました。同13年従五位下筑後守に叙任され、同15年の父の死後、跡目を相続し、忠次の政治的立場を引き継ぎました。

同16年には駿府に在勤し、家康に仕えていましたが、同19年の大坂冬の陣では、淀川の上流を塞ぐ堤を築き、水を涸らして往来を自由にした。元和元年(1615)の大坂夏の陣では、平野表(大阪市)において残党を追討し、敵の首30級を得る軍功を挙げました。

元和4年3月34歳で亡くなり、遺領は嫡子忠勝が継ぎました。父と同じ勝願寺に葬られましたが、現在墓塔は伝わっていません。

忠政死去後は、8歳の忠勝が家督を継ぎますが、翌5年8月僅か9歳で夭折したため家系は断絶し、所領は収公されました。しかし、伊奈氏の名跡を惜しむ幕府により、忠勝の弟忠隆に旧領のうち小室郷において1180石余の地を与えられ、旗本として熊蔵家が再興されました。

伊奈忠治

文禄元年(1592)、伊奈忠次の次子として生まれました。徳川家康に仕え、勘定方として父忠次を補佐、父の死後独立し関東の農政を担当しました。兄忠政が元和4年(1618)に若くして没すると、7千石を与えられ武蔵国赤山(川口市赤山)に陣屋を築きました。

忠治は、父忠次の代官頭権限のうち、代官として地方支配機能を継承し、のちの関東郡代の初代として、関東及び東海筋の幕府直轄領の支配にあたりました。特に、関八州の治水工事、新田開発、河川改修に力を注ぎ、荒川開削、江戸川開削に携わっています。また江戸初期における利根川東遷事業の多くが忠治の業績であり、鬼怒川と小貝川に分流工事や下総国、常陸国一帯の堤防工事なども担当しました。

承応2年(1653)6月に62歳で亡くなり、父と同じく勝願寺に葬られました。

埼玉県内の伊

6 備前堀(本庄市～熊谷市)

慶長9年(1604)に伊奈忠次によって開削された用水路で、児玉郡仁手村(本庄市)の烏川(利根川の支流)から水を引き入れ、深谷領・幡羅郡・羽生領・忍領の計108ヶ村の灌漑用水に用いられた。

備前渠、備前渠用水、備前渠川とも呼ばれています。



本庄市



熊谷市

1 氷川神社(伊奈町)

旗本伊奈氏が与えられた小室郷8ヶ村の総鎮守で、寛永16年(1639)伊奈忠隆が「氷川社廻之掃除吾人扶持」を寄進しています。明暦2年(1656)の検地では、伊那時時永(忠隆の嫡子宗英^カ)から別当吉祥院に「氷河大明神免」が、元文2年(1737)には伊奈忠豊から吉祥院に耆町歩の土地が与えられています。



2 法光寺(伊奈町)

法光寺は、明暦2年(1656)の検地で、伊那時時永から浅間免地を与えられています。山門を入れて右手に並ぶ六地藏尊は寛文12年(1672)11月の建立であり、このうち左端にあるものは伊那(伊奈)忠之(宗英の弟)が父忠隆(あるいは父母^カ)追善のために建てたものです。なお、忠之は小室陣屋に住んでいたのでいわれています。



3 伊奈氏屋敷跡(伊奈町)

湿地帯の先に広がるこんもりとした森が伊奈氏屋敷跡です。ここには、中世以来の名刹無量寺関伽井坊がありましたが、伊奈忠次は関伽井坊を明星院(桶川市)に移し、その跡に陣屋を構え、ここを拠点に活動しました。この陣屋は小室陣屋、丸山陣屋等と呼ばれています。

屋敷の「裏門跡」からは、戦国期の城館堀とみられる「障子堀」が発掘されています。



県指定・記念物(史跡)

4 伊奈熊蔵忠勝の墓(伊奈町 願成寺)

伊奈忠政の遺跡を継いだ忠勝は、元和5年(1619)8月16日に9歳で夭折し、願成寺に葬られました。法名は廓然院殿見桐生蓮信男。願成寺は、初め大山にありましたが、文禄3年(1594)伊奈忠次が現在の地に移し、浄土宗鴻巣勝願寺の末寺となったといわれています。墓域には、宗英の弟忠之をはじめ一族の墓塔がいくつかみられますが、詳細は不明です。



町指定・記念物(史跡)

5 地藏院跡(伊奈町)

新義真言宗法光寺末で水中山(仙間寺)と号しました。寛文11年(1671)10月3日、伊那十左衛門(忠隆の嫡子宗英と思われ)から寺屋敷・畠・居山合せて7反9畝6歩が、加善坊に地蔵免地として与えられたのに始まります。明治4年(1871)法光寺に合併、魔寺となりました。

